

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2017年7月28日（金）

NO. 776号 本号3頁

「安倍・稲田辞めよ」「疑惑隠ぺい、絶対許さない！」

参院の予算委員会の閉会中審査が行われた25日、昼、「加計」疑惑、自衛隊の「日報」隠ぺい問題の真相究明、安倍晋三政権の退陣を求める抗議行動が議員会館前で行われました。

「安倍辞めろ」などのプラカードを持った350人が「疑惑の隠ぺい許さないぞ」「市民と野党は共闘」「みんなの力で政治を変えよう」とコールしました。主催は、総がかり行動実行委員会。

主催者あいさつで高田健共同代表は、「安倍政権を追い詰めているのは、全国各地でスタンディングやビラ配布、署名などを行っている市民の力だ。これこそ勝利への道だ」と

駆けつけた社民党の福島瑞穂副党首、民進党の大串博志政調会長、共産党の井上百合子参院国対委員長があいさつしました。3氏とも前日の衆院予算委員会の閉会中審査に触れて、疑惑隠しの安倍政権を厳しく批判しました。

その後、安全保障関連法に反対する学者の会の高山佳奈子・京都大学教授、安保関連法に反対するママの会の長尾詩子さんらが連帯挨拶しました。



本日、稲田防衛相、追い詰められ辞任へ！

ついに稲田防衛相が辞任する意向を固め、本日にも日報問題をめぐる特別防衛監察の結果を公表し、その後辞任を表明することとなりました。

これは全国各地での「稲田辞めろ」の運動の成果であります。しかし、日報の組織的隠ぺい問題は解決していません。与野党で合意していた日報問題での閉会中審査を開催し、稲田氏も出席させて、全てを明らかにすべきです。

とんでもない！ 自民党の二階幹事長

「いろいろ言われても耳貸さず自信を」と発言

自民党の二階幹事長は大阪市で開いた派閥の研修会で、各種の世論調査で内閣支持率が下落していることに関連し、「いろいろ言われていることは知っているが、そんなことに耳を貸さないで、正々堂々自信を持って、頑張らなくてはいけない」と述べました。

二階氏は、各種の世論調査で内閣支持率が下落していることに関連し、「自民党がいろいろ言われていることは知っているが、そんなことに耳を貸さないで、われわれは正々堂々自信を持って、次の世代にバトンタッチできるまで頑張らなくてはいけない」と述べました。

また二階氏は「話題に乗せられたことがたくさんあるが、くだらないことは常識外れだから切り捨て、もっと前を向いて、世界に目を開いて、頑張っていかななくてはならない」とも述べました。

そして二階氏は「どこの政党がなんと言おうと、国を任せただけなのは自民党以外になく、みんなの期待に応えたい」と述べました。

28日の朝日新聞の「Voice声100年」に「二階氏は謙虚さのかけらもない」との埼玉の方の投稿が掲載されていました。その中で「このおごりこそが、一強と言われる自民党の問題となっているのではないですか」と厳しく批判しています。全く、反省のない自民党に国民は怒っています。

自民党憲法改正推進本部、全体会合で参院「合区」解消論

について論議 早期解消を求める意見が大勢

自民党は26日、憲法改正推進本部の全体会合を党本部で開き、1票の格差を是正するため昨年導入した参院の「合区」について論議しました。2つの県を1つの選挙区にする合区は、今年の参院選で「鳥取・島根」「徳島・高知」で導入されました。参加した議員からは「地方の声を国政に反映できない制度だ」などと合区の早期解消を求める意見が大勢を占めました。

この会合には約100人の議員が出席しました。山本一太参院議員は、改憲を念頭に「自民が一丸となって合区解消を実現すべきだ」と主張しました。また、「地域の代表者のいない地域をつくるのは、1票の格差よりよっぽど大きい問題だ」との意見も出されました。

この間の憲法改正推進本部での論議では、合区解消のための改憲案としては、「選挙制度は法律で定める」と規定した憲法47条に、「参院議員を各都道府県から選出する」との趣旨を盛り込む案が出されています。

船田元・憲法改正推進本部長代行は会合後、記者団に「47条の改正だけでも理屈は成り立ちうる」と強調し、47条改正だけで十分だとの見方を示しました。

一方、連立を組む公明党は「憲法で議員の位置づけを変えれば、衆参両院の役割の見直しも必要になる」と慎重論が根強くあります。保岡氏は改憲本部の会合後、記者団に「ハードルは高いが、政治の根幹的なテーマなので党としてしっかりまとめたい」と語りましたが、与党内の調整は難航しそうです。

自民党は、国民の批判にも耳を貸さず、改憲検討4項目の議論をすすめています。改憲本部は8月1日に教育無償化をテーマに全体会合を開くとしています。改憲の検討対象として挙げた4項目すべての議論を一通り終えることとなります。

なお、推進本部は26日の執行役員会で、今秋の臨時国会に党独自の改憲案を提出するとした安倍晋三首相の方針を堅持することを確認しています。今後具体的な条文案づくりを急ぐとしています。二階氏の発言もそうですが、とんでもありません。都議選・仙台市長選挙で示された国民の審判をきびしく受け止め、安倍9条改憲・憲法改正を断念すべきです。

各地のとくみ

山形 「やめさせよう！安倍内閣・市民の会」が山形市内をデモ行進し、アピール

山形県の「やめさせよう！安倍内閣・市民の会」は25日、山形市内をデモ行進しました。時折、激しい雨が降る中、暴走を続ける疑惑まみれの安倍内閣を退陣させようと市民に呼びかけました。

出発前、共産党の石川衆院山形1区候補があいさつに立ち、「衆参予算委員会の閉会中審査で疑惑がますます深まった。与党と安倍内閣は疑惑解明に背を向けている。疑惑解明のため政治を国民の手に取り戻すため、安倍内閣をやめさせるために力を合わせましょう」と訴えました。

参加者は「ノーサンキュー安倍内閣」の横断幕を先頭に、「安倍政治を許さない」のプラスターや「安倍辞めろ」の大きな旗を持って市内をデモ行進しました。途中「安倍内閣を辞めさせよう」「解散・総選挙」「市民と野党で手を結ぼう」とコールを続け、「疑惑まみれの安倍内閣を退陣させるために一緒に声をあげましょう。一緒に歩きましょう」と市民に呼びかけました。

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

「共謀罪法」の廃止を求める緊急統一署名

政府と与党などは、2017年通常国会の参議院本会議で、法務委員会の採決を省略する極めて異例な「中間報告」という手段を用いて、共謀罪法（改正組織犯罪処罰法）を、強行採決によって成立させました。

私たちは、この暴挙に強く抗議し、下記の理由から「共謀罪法」の廃止を求めます。

1. 共謀罪法は、277種類もの犯罪について、法益侵害の危険性のない「計画」（共謀）を処罰しようとするものであり、まさに「話し合うことが罪になる」、刑法の原則を根本から破壊する憲法違反の悪法です。
2. 政府は、共謀罪を「テロ等準備罪」と呼び、東京オリンピック等を開催するためのテロ対策に必要だと主張しましたが、共謀罪の対象となる277の犯罪のほとんどはテロと関係がなく、共謀罪がテロ対策だというのはウソです。テロ対策の法制度はすでに整備されています。
3. 共謀罪は処罰の対象をテロリストや暴力団に限定するものではなく、一般市民・団体も対象としています。また、「計画」、「準備行為」、「組織犯罪集団」の定義はいまいで、何が罪にあたり処罰対象となるのか知ることできないため、市民の自由な言論・表現・行動に萎縮効果をもたらします。
4. 共謀罪法により、警察や検察の恣意的な判断で、政府や企業にものを言おうとする一般市民や団体が捜査対象にされたり、プライバシーを侵害されたりする市民監視・言論弾圧の危険が現実化します。

【請願事項】 1、「共謀罪法」（改正組織犯罪処罰法）を廃止してください。

名 前	住 所

呼びかけ団体

共謀罪NO！実行委員会

連絡先 日本国民救援会 ☎ 03-5842-5842 / 日本民主法律家協会 ☎ 03-5367-5430

集約先 日本消費者連盟 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19-207

日本国民救援会 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター5F

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

連絡先 1000人委員会 ☎ 03-3526-2920 / 9条壊すな！実行委員会 ☎ 03-3221-4668
／憲法共同センター ☎ 03-5842-5611

集約先 総がかり行動実行委員会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

連合会館1F 平和フォーラム気付

署名取り扱い団体

※封筒に共謀罪署名と明記してください

